

個人でやれること・・・



デコ活内容	年間節約 万円	年間節約 時間	活動ガイド	施策	
住 [外]	太陽光発電：災害時にも使える	5.3	—	特に機会がある方	#4
	住宅の断熱化（窓・屋根・壁・床）： ヒートショック防止	9.4	—	機会がある方	#4
住 [内]	高効率給湯器	3.5	—	機会がある方	#4
	LED照明	0.3	0.4	みんなで！	#4
	省エネ家電 （冷蔵庫・エアコン・※HEMS）	2.8	—	みんなで！	#4
	節水 （キッチン・洗濯機・シャワー・トイレ）	1.6	—	機会がある方	#11
衣	クールビス・ウォームビス	0.4	—	みんなで！	—
	サステナブルファッション	—	—	みんなで！	—
買・食	地産地消・食べきり	0.9	—	みんなで！	#5、6
	はかり売り・自動決済：好きなものを 好きなだけ	—	3	みんなで！	—
	ごみの削減・分別	0.4	—	みんなで！	#11
職	テレワーク	6.1	275	機会がある方	—
移	公共交通・自転車・徒歩	1.2	—	みんなで！	#2
	電動車の購入	7.5	自動運転で 323 給油不要なら 2	特に機会がある方	#2
基盤	情報（教育・ナッジ）※、インセンティブ	—	—	みんなで！	#11

※HEMSとはホーム・エネルギー・マネジメント・システムの略で、家庭内で使用している電気機器の使用量や稼働状況をモニタ画面などで「見える化」し、電気の使用状況を把握することで消費者が自らエネルギーを管理するシステムです。  
※ナッジ（nudge：そっと後押しする）とは、行動変容・ライフスタイル転換のことで「人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取るように手助けする政策手法」です。



※環境省「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」より作成  
CO2を減らす 環境にやさしい アクション＝「デコ活」  
(De・CO2) (Eco)

庄内町地球温暖化対策実行計画  
(概要版)



■発行日：2025年4月  
■発行元：庄内町 環境防災課 温暖化対策係  
〒999-7781 山形県東田川郡庄内町余目字町132-1  
TEL：0234-43-0256  
E-mail：shinene@town.shonai.yamagata.jp

概要版



ZERO CARBON  
TOWN SHONAI  
2050

庄内町  
地球温暖化対策実行計画

地球温暖化とその影響

近年、世界中で深刻な問題として取り上げられている地球温暖化。

このまま温暖化がすすむと、どうなるの？



水稻 高温による品質低下  
左：白未熟粒，右：正常粒  
大豆のカメムシ類による吸汁害  
施設野菜・施設花きの生育不良  
森林 集中豪雨による激甚な山地災害

資料）農林水産省気候変動適応計画（概要）（令和5年8月）

熱中症の  
リスク増加

農林水産物への被害

資料）文部科学省・気象庁「日本の気候変動2020」より国土交通省作成

・年平均気温が約1.5℃/約4.5℃上昇

猛暑日や熱帯夜はますます増加し、  
冬日は減少する



気温の上昇

・沿岸の海面水位が  
約0.39m/約0.71m上昇



海面水位の上昇

気象災害の増加

・台風に伴う雨と風が強まる



強い台風の増加

・青字：2℃上昇  
・赤字：4℃上昇

激しい雨の増加  
・日降水量の年最大値は  
約12%(約15mm)/約27%(約33mm)増加  
・50mm/h以上の雨の頻度は約1.6倍/約2.3倍増加

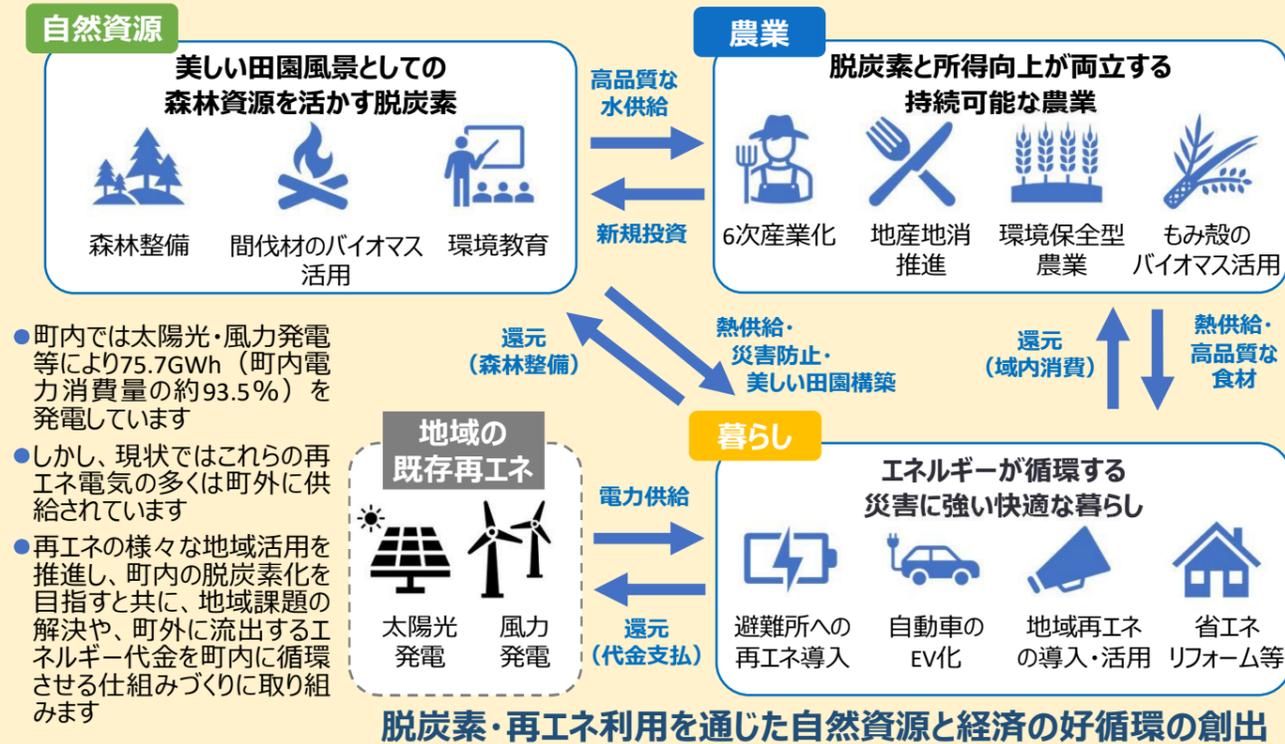


# 庄内町の未来と目標

## 庄内町の将来像 2050

### 美しい田園からまちにエネルギーが生まれる 快適で住みよい庄内町

町面積の6割を占める森林の整備、稲作を代表とする農業の脱炭素と高所得化、既存再エネの地産地消が進んだ安全安心な暮らしづくりが相互に価値を及ぼしあい、庄内町の暮らし・農業・自然資源が発展し続けるサイクルの確立



## 2030年度までの削減目標

地球温暖化の原因となる温室効果ガスについて  
2030年度までに2013年度比50%の削減をめざします。

温室効果ガス排出量 千t-CO2	2013 基準年度	2021 現況年度	2030 目標年度	基準年度比削減率
産業部門	24.2	15.4	14.0	42%
業務その他の部門	24.2	18.4	14.3	41%
家庭部門	41.4	28.3	32.4	22%
運輸部門	51.9	40.9	36.4	30%
廃棄物分野(一般廃棄物)	1.2	4.0	0.3	75%
森林吸収			-32.7	
● 合計	142.8	106.8	64.3	▲55%

※四捨五入の関係で、合計値・割合は整合しない場合があります

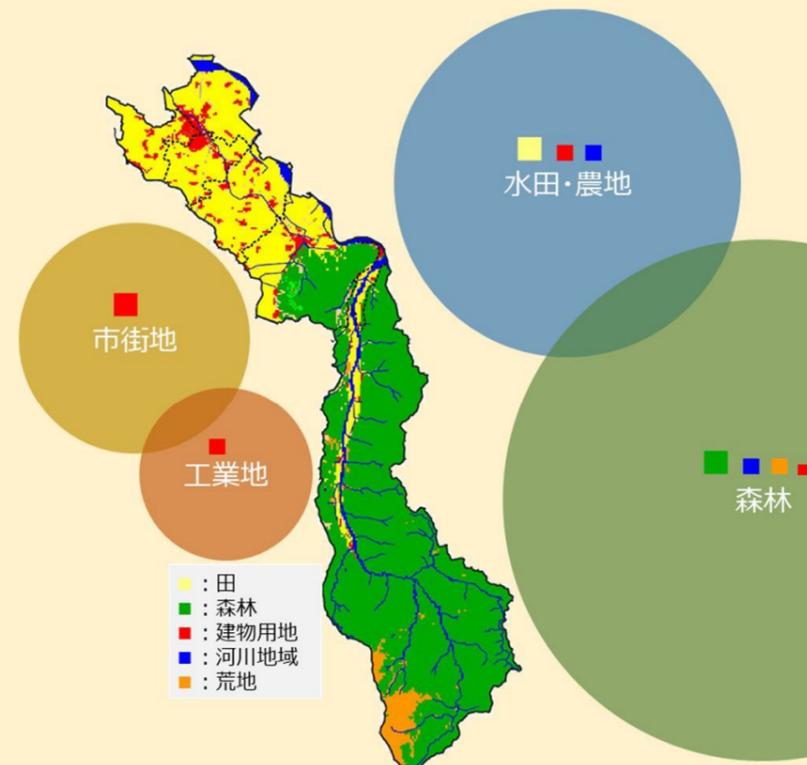


# 温室効果ガスを減らすための施策

2050年カーボンニュートラルの実現に向け温室効果ガスを減らすために、再生可能エネルギーの導入や、家庭や事業所で消費するエネルギーの節約をするなど、さまざまな対策が必要となります。

※農林従事者除く

#	ビジョン	施策	事業実施エリア				事業関係者			
			市街地	工業地	水田・農地	森林	住民	農林従事者	事業者*	行政関係者
1	暮らし エネルギーが循環する災害に強い快適な暮らし	避難所への再エネ(太陽光・蓄電池)導入	●		●			●	●	
2		自動車のEV化の推進	●				●	●	●	
3		地域再エネ販売の域内活用	●	●	●		●	●	●	
4		※ZEB化・ZEH化・省エネリフォームの推進	●	●	●		●	●	●	
5	農業 脱炭素と所得向上が両立する持続可能な農業	学校・福祉施設等への地元食材の消費の働きかけ	●		●			●	●	
6		6次産業化による付加価値向上と地産地消の促進	●		●			●	●	
7		環境保全型農業の推進			●			●	●	
8		もみ殻のバイオマス活用	●	●	●		●	●	●	
9	自然資源 美しい田園風景としての森林資源を活かす脱炭素	森林整備強化(J-クレジット創出)			●			●	●	
10		間伐材のバイオマス活用	●	●	●		●	●	●	
11		子どもたちに向けた環境教育等の推進	●	●	●	●	●	●	●	



※ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で「ゼブ」と呼びます。  
快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のことです。

※ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の略称で「ゼッチ」と呼びます。  
建物の断熱性能を高めて、高効率な設備を導入することによって消費するエネルギーを少なくすることで「省エネ」を実現するとともに、太陽光発電などの再生可能エネルギーを創り出す「創エネ」によって、エネルギー収支が正味ゼロになることを旨とした住宅のことをいいます。